

無断転用禁止

植物由来  
(申請中)  
医薬部外品

# Olivem 1000

(オリベム 1000)

**オリーブ由来の高機能な乳化剤。角層深くになじみ皮膚バリア、保湿力アップ**

**【特長】** 特別に選ばれたイタリア トスカーナ地方のオリーブ油を由来  
皮脂成分に近いため、肌に負荷が少ない  
肌バリアを壊さず、保湿効果を長期持続

## 【コンセプト】

イタリア北西部、フィレンツェに代表される芸術にあふれ、芳醇な大地の産物である良質のワインやオリーブオイルに溢れるトスカーナ地方。そのトスカーナ地方の特別なオリーブの実から丁寧に抽出された**バージンオリーブオイル**。豊富なビタミンやポリフェノール、必須脂肪酸に恵まれたそのオリーブオイルに着目し、研究を重ねたのが B&T 社の Dr.Amari (ドクターアマリ)です。



ドクターアマリは、オリーブオイルの化学者で、その成分をイタリア屈指の大学であるミラノ大学とシエナ大学と共同して研究を重ね、あるバージンオリーブオイルに含まれるオリーブ脂肪酸の構成が、ヒトの皮脂成分の構成に非常に近いことを突き止めました。しかも、脂肪酸以外にもオリーブオイルには数多くの皮膚に良い成分が含まれているのです。

その特異性に着目し、ドクターアマリは、「**オリーブオイルの成分を保ったまま**」、天然加工し乳化剤の研究を重ねました。

5年以上の歳月をかけ、ついにドクターアマリによりオリーブオイルを由来とする O/W 乳化剤である**オリベム 1000(表示名称:オリーブ脂肪酸セテアリル、オリーブ脂肪酸ソルビタン)**が発明されました。このオリベム 1000 は、先の皮

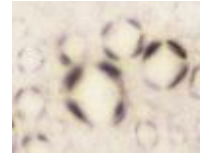
## 【オリベムの皮膚への化学的親和性】

	脂肪酸の構成 (%)			
	ココナッツ油	ホホバ油	オリーブ油	皮脂
不ケン化物	max 0.6		1.0-1.5	5.0
ネルボン酸 (C 24:1)		Max 3.5		
ベヘン酸 (C 22:0)		Max 1.0		
エルカ酸 (C 22:1)		10-25		Minor component <sup>1</sup>
アラキン酸 (C20:0)		0.5		
ガドレイン酸 (C20:1)		65-80		Minor component <sup>2</sup>
ステアリン酸 (C18:0)	1.5-5.0	0.5	0.5-5.0	20-28
オレイン酸 (C18:1)	6.0-9.0	1.5-5	55-83	30-35
リノール酸 (C18:2)	1.0-2.2		3.5-13.5	3.0-3.5
リノレン酸 (C18:3)	max 0.3		max 0.8	max 1.2
パルミチン酸 (C16:0)	8.0-10	3.0	7.5-20	25-29
ミリスチン酸 (C14:0)	16-19		<0.1	
ラウリン酸 (C12:0)	42-52		—	—
カプリン酸 (C10:0)	6.0-8.0			
カプリリン酸 (C8:0)	5.0-10			
カプロン酸 (C6:0)	0.5-10			

脂成分に最も近いオリーブオイルの性質を引き継ぐだけでなく、水に溶解させよく攪拌するだけで、自己液晶化することが分かりました。

これにより、角層の外側の皮脂へなじみが良いだけでなく、角層内部の細胞間脂質に構造的になじみが良く、冬場の乾燥や水仕事や強い洗浄によりダメージを受けた角層のバリアを外側から修復し、安定化させることで、**バリア機能の回復と長期の保湿効果**を得ることが分かったのです。

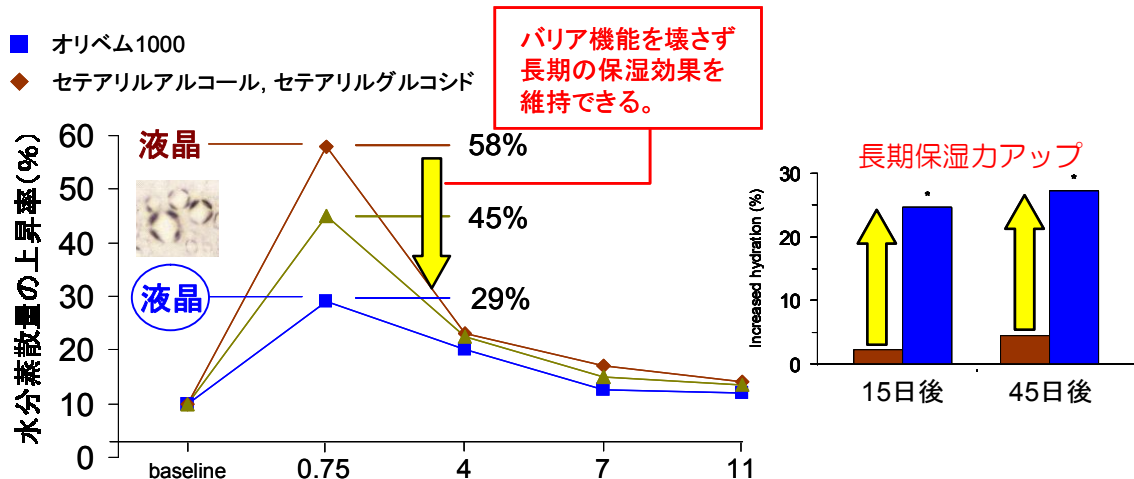
更に最近では、細胞間脂質の立体構造を整えることで、成分の肌への馴染みを高めることも分かってきています。



## 【効果・効能】

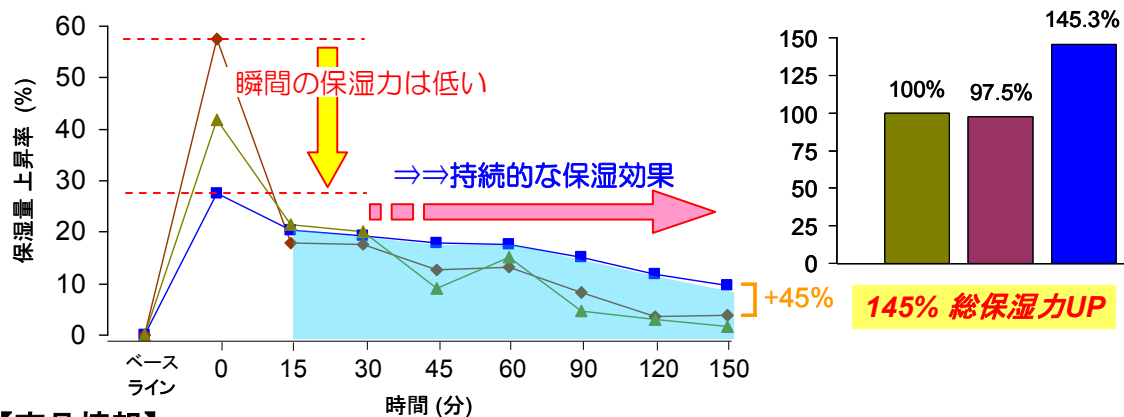
### ● 短期・長期の角層のバリア機能と保湿機能

- オリベム1000
- ◆ セテアリアルアルコール, セテアリアルグルコシド



界面活性剤にも関わらず、水分蒸散を抑え、45日後においても保湿効果がアップ

- オリベム1000
- ◆ セテアリアルアルコール/セテアリアルグルコシド
- ▲ ジステアリン酸ポリグリセリル-3メチルグルコース



## 【商品情報】

商品名: Olivem1000 (オリベム 1000)

表示名称: オリーブ脂肪酸セテアリアル、オリーブ脂肪酸ソルビタン

製造元: B&T Company (イタリア)